

規則 42 最も一般的な違反ーフィン級

この文書は、ジャッジとセーラーに向けたガイダンスです。

原則：ジャッジはセーラー側に立って判断しますが、セーラーが規則 42 に違反していると確信した場合、ルールを遵守しているセーラーのために判断します。

規則 42 に影響を与えるフィン級のクラス規則:

C.1 一般

C.1.1 規則

(1) RRS 42.3 について、新たに RRS 42.3 (i) が追加、変更された。

42.3(i) レース委員会は RRS 付則 P5 に従って、艇のプロパーコースがクローズホールドかそれより風上側である場合を除き、スタート信号後にパンピング、ロックング、ウーチングが許可されることを通知できる。これにより、42.2(a)、42.2(b)、および 42.2(c)の規則が変更される。

(2)フィンクラスは、レース委員会が風上マーク運営艇のデッキレベルで測定された 10 ノット以上の風速では、クラス規則 C.1.1(1)の適用を推奨している。A.7.2 も参照のこと。

フィン特有のテクニックと違反:

フィンレーザはレーザーよりもはるかに重いボートであり、規則 42 の違反は、何らかの効果を得るためにより大きな動作が必要で、通常は識別しやすい。フィン級では 10 ノット以上の風で 0 旗を使用する。0 旗掲揚時でも、通常の規則 42 の制限は、スタート信号前と艇のプロパーコースがクローズホールドかそれより風上側である場合に常に適用される。

スタート

1. 1 回のロール

- ・スタート時のロールで、明らかに艇を推進してはならない。

許される動作:

- ・明らかに艇を推進させない 1 回のロール。

禁止される動作:

- ・明らかに艇を推進させる 1 回のロール - BASIC 4
- ・繰り返しのローリング - 42.2(b)(1)
- ・ボディパンプ- パンプ 6

証拠の収集:

- ・競技者が艇をローリングしているか?
- ・1 回のロールが明らかに艇を推進しているか?
- ・繰り返し(複数回)ローリングが行われるか?

2. スカリング

フィンのラダーはボートを推進させやすい形状で、スカリングが問題となりやすい。艇を静止させたり推進するための、力強い動きである必要はない。

許される動作:

- 艇がクローズホールドより風上側から、クローズホールドまでコース変更する場合のスカリング（力強くてよい） - 42.3(d), SCULL 1
- ラダーを繰り返し動かして速度を下げる - 42.3(f)

禁止される動作:

- 艇がクローズホールドより風上を帆走し、同時にメインシートを引き込んで、艇のコース変更を妨げる際のスカリング
- クローズホールドより風下でスカリング
- 左右への力強いスカリング - SCULL 2
- クラビング、ただしラダーの動きがセールを押さえて生じるステアリングを相殺するのに十分効果がある場合のみ - SCULL 3

証拠の収集:

- スカリングの動きは力強いのか?
- 艇を推進させているか、後進を防いでいるか?
- クローズホールドより風上側から、明らかにクローズホールドまでコース変更しているか?
- スカリングは、直前のスカリングの効果を相殺しているか?
- セールを押さえているとき、艇のコース変更を妨げているか?

アップウインド

1. ボディパンピング

スタートライン監視時に、スカリングと組み合わせ、風位を高く、艇速を上げる艇をよく見かける。時には、スターボードタックの艇の前を横切ろうとするポートタック艇も見かける。通常、風上レグでの違反はほとんどない。

許される動作:

- 波にあわせて艇の前後トリムを変えるための、身体の前後への動き - OUCH 1

禁止される動作:

- 繰り返しリーチのフリックを引き起こすボディパンピング - PUMP 6

証拠の収集:

- 波はあるか?
- セーラーの身体の動きは波とあっているか?
- セーラーの身体の動きがリーチをフリックさせる原因か?
- フリックとセーラーの身体の動きが連動しているか?
- フリックは繰り返されているか?
- リーチのフリックは波によって引き起こされているか?
- 他艇と比べてどのように見えるか?

ダウンウインド

1.パンピング

フィン級には、セールを繰り返してトリム、リリースできるJCストラップ(ブームに取り付けられたコード)があり、他のクラスと比べ、軽風のダウンウインドレグでシートパンプがよく見られる。これは、セールをあおる非常に細かなシートの動きになり、艇の横側からブームエンドが10~30cm動くのがよく見られる。ジャイブ完了時にセーラーが艇をフラットにする間に、1回のシートパンプを観察することもある。1回のシートパンプが明確に艇を推進させる場合、規則違反であり、同じレグで続けてのジャイブ直後または完了時に繰り返される場合、規則42.2(a)違反となる。

○旗掲揚時、許された範囲でロールさせている際に、セーラーは艇をヒールさせて、ブームとクリューを水中に沈めることがある。セーラーは、その後、水の抵抗に逆らってセールを引いて、艇を加速させる。この動作はローイングであり、規則42.1に違反する。ペナルティを課すには、艇の加速がブームのローイング、水中から引き上げられたセールと連動しているか確認すること。その動作が明らかにボートを推進することを、ジュリー同士で同意すること。この違反は、○旗が掲揚されるかどうか微妙なコンディションで最も起きやすい。風、波、艇の速度が上がるほど、艇の操作によって、明らかに艇が推進される可能性は低くなる。ローイングによる効果と、許された範囲のパンピングとロールによる効果を区別できない場合は、ペナルティを課さないこと。

許される動作:

- 風や波に合わせて艇を動かすためのセールの操作 - PUMP 2
- 波やガストごとに1回、セールをパンプしてサーフィング、プレーニングを開始できる。ただし、サーフィングが許されるには、波の前側で大きく加速している必要がある - 42.3(c)
- ブームやクルーを水中に沈めても、艇を推進させずに水中から引き上げること。

禁止される動作:

- ファニングさせるために繰り返されるセールのトリミング - PUMP 1
- ジャイブ中にローリングし、ジャイブ完了時にシートパンプすること。これらのうち1回でも力強い場合、基本ルール(BASIC 4)に違反し、繰り返されると42.2(a)に違反する。
- すでにサーフィング、プレーニングしている状態でのセールのパンピング - PUMP 12
- 艇を明らかに推進するための、ブームとクルーを用いたローイング - BASIC 4

証拠の収集:

- サーフィング、プレーニング条件か?
- 波やガストごとに1回の、サーフィング、プレーニングか?
- すでにサーフィング、プレーニングしながら艇がパンプしているか?
- セールの出し入れは、風のシフト、ガストや波へ合わせて行われているか?
- セールを繰り返し出し入れし、あおっているか?
- 水中にブームとクルーを沈め、明らかなローイングアクションで推進しているか?

2. ロッキング

セーラーは、許されるパンプにロールを加えて、パンピングとローリングを一緒に行うことがある。規則 42.3(c) の例外は、波またはガストごとに 1 回のパンプを許しているのものであって、同時に、波や波またはガストごとに 1 回のロールを許していない。

許される動作:

- ベアのために風上に艇をヒールさせること、ラフのために風下に艇をヒールさせること。波のパターンに合っており、ヒール量が艇のターン量と一致していること - ROCK 6
- ボートの安定性が低下しても、クルーの位置をそのままにすること - ROCK 4

禁止される動作:

- 波のパターンに合っていない繰り返しのローリング - ROCK 7
- 大きな動作を行い、その後にロッキングを誘発するわずかなコース変更によって、ステアリングを容易にするための繰り返しのローリング - ROCK 6
- 許される範囲のローリングを行うときに立ち上がり、ロール完了時に力強く座ることで、明らかに艇が推進する場合 - BASIC 4
- 直後に艇が繰り返しローリングするような 1 回の動作。特に、風上側にロールさせ、完了前に、ロールを打ち消すために体を内側に動かすこと - ROCK 5
- 軽風条件で、水中からセンターボードを出し、リーチを緩めて、トラベラーの上に座りながら、肩や頭をリズムカルに繰り返し動かしローリングさせること

証拠の収集:

- 競技者は艇をローリングさせているか?
- ローリングはステアリングを容易にしているか?
- ステアリングを容易にするための、艇をローリングできる条件か?
- ヒール量はボートのターン量と一致しているか?
- 波のパターンにリンクしているか?

3. ロールジャイピング

軽風条件で、ゾーンに到達した場合、あるいは他艇のカバーリングを外そうとする際、セーラーはスピードを得るために繰り返しジャイブすることがある。

許される動作:

- 風の変化に合わせた、あるいは戦術的に必要な繰り返しのジャイブ
- ジャイブ前の艇速より早くならずにジャイブを完了し、ジャイブ前の艇速に戻ることに ROCK 8

禁止される動作:

- 風の変化に合っていない、あるいは戦術的に必要のない繰り返しのジャイブ - 42.2(e)
- ジャイブ前の艇速より早くなってジャイブを完了し、ジャイブ前の艇速に戻ることに

証拠の収集:

- 個々のジャイブで艇速は上がるか?
- セーラーの動作が艇速の上昇を引き起こすか?
- ジャイブ後の艇速の増加は急激で、その後大幅に低下しているか?
- ジャイブは風の変化に合っているか、戦術的に必要と説明できるか?

ヒント

1. 質問すること!
2. 技術について確信が持てない場合は、他のセーラーも情報を共有できるよう、書面で質問してください。
3. イエローフラッグフラグペナルティを受けた場合、何が OK で、何が OK でないかの説明を、ジュリーに尋ねてください。
4. 重要なイベントになればなるほど、セーラーの人数に対するジャッジの人数の比率が高くなり、セーラーの動作は注意深く監視されています。

上記以外の質問は、Bill O'Hara billohara@aol.com までお問い合わせください

この文書はガイダンスとしての位置づけです。公式文書は ISAF 解釈です。